

自然観察会（Ⅱ） 実施報告

実施日
H27.7.19（日）

特定非営利活動法人 森と人のネットワーク
「プロ・ナチュラリスト佐々木洋さんに行く
夏の高尾自然観察」

（写真・文提供 特定非営利活動法人
森と人のネットワーク 副理事長 泉 和弘氏）

心配していた台風11号の進路は西にそれてくれたのでイベント日和になりましたが、前日までの雨の影響で沢の水量が増加したため、対岸に渡っての観察路を散策するルートは中止し、日影林道中心の観察会ルートに変更して観察会を開催しました。今回は定員を超える46名の参加がありました。

日影林道入口でのオープニングでは、①アサギマダラ②ムササビ③テングチョウの3つの班に分け、リーダー、サブリーダーを紹介し観察会を開始しました。



午前中は林道入口～日影沢キャンプ場までの林道約500mを約1時間かけての自然観察です。林道を歩いていると、ピンクの花をつけた野草を発見。名前は「ハグロソウ」。花びらは2枚で上下に開いて上唇と下唇のようにも見えます。花びらに斑点がついているのが「お歯黒」のようだから、「ハグロソウ」と呼ぶとも言われますが、葉が他の葉よりも濃い色（暗い）をしているから、「葉黒草」と名が付いたのが本当のようです。実際に他の葉と比べてみても、他の野草も濃い緑をしているので特別に黒いとは思えないですね。

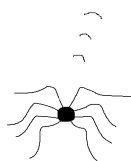


ドクツルタケ



ハグロソウ

野草のそばには、足の長いクモのような「ザトウムシ」がいました。前足を触角のようにして前方を探っている様子が、座頭市が杖をついて歩くのに似ているのでザトウムシと呼ばれています。クモのような形ですが、クモのように頭と胴の間のクビレは無く、一体化していて分類上もクモ綱ザトウムシ目に分類され、クモ目とは別になっています。宮崎駿のアニメ「千と千尋の神隠し」に出てくる「釜爺」はザトウムシをモデルとしたそうです。



キャンプ場に到着し昼食後、午後のテーマは昆虫採集です。参加者に容器と小さな補虫用の網を配って林道沿いを約1時間かけて昆虫採集し、班ごとに集めた昆虫の名前を調べました。集めた昆虫の中から各班でベスト3を選出し、リーダーが説明を加え発表をしました。



各ベスト3の発表の後は、それぞれの班で見つけた昆虫でミニ昆虫展を開き、参加者全員で観察をしました。

○当日観察した生きものたち（抜粋）

ミスジマイマイ、オオケマイマイ、サワガニ、キマワリ、スミナガシ、ヒシバツタ、フキバツタ、ノコギリカミキリ、ラミーカミキリ、ナガゴマフカミキリ、ナミテントウ、ホソハリカメムシ、マルカメムシ、カメムシタケ、アオバセセリ、モンキアゲハ、ヨコツメアオシャク

